

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度		橋梁ID
			経度			
(フリガナ)						
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

定期点検時に記録			応急措置後に記録			
部材名	判定区分 ( ~ )	変状の種類 ( 以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁					
	横桁					
	床版					
下部構造						
支承部						
その他						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 ~ )

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
橋梁形式		

架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

部材単位の判定区分が、又は の場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造( )【判定区分: 】	上部構造( )【判定区分: 】
支承部【判定区分: 】	下部構造【判定区分: 】

点検調書(その1) 橋梁の諸元と総合検査結果										緯度		経度				
ふりがな				ブロック番号			橋梁番号			点検年月	今回	前回				
橋梁名				路線	道路種別				路線指定							
所在地					路線名				点検実施者							
架設年			橋長			活荷重・等級			適用示方書				物件1			
上部工形式				幅員	全幅員	地覆幅	歩道幅	車道幅・車線	車道幅・車線	歩道幅	地覆幅	中央帯	中央分離帯	交差物件	物件2	
					有効幅員											
下部工形式				調査足場				その他の方法					物件4			
				関係機関協議先												
基礎形式																
総合診断結果	健全度 (橋単位)															

点検調書(その2) 一般図				緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号	橋梁番号		点検年月	今回	前回	
橋梁名	路線	道路種別	路線指定				
所在地		路線名	点検実施者				
一 般 図							

点検調書(その3) 現地状況写真						緯度		経度			
ふりがな		ブロック番号		橋梁番号		点検年月		今回		前回	
橋梁名		路線	道路種別		路線指定						
所在地			路線名		点検実施者						
現 況 状 況 写 真	写真番号	メモ			写真番号				メモ		
	写真説明				写真説明						
	写真番号	メモ			写真番号				メモ		
	写真説明				写真説明						

点検調書(その4) 径間別点検結果			径間番号			緯度			経度								
ふりがな			ブロック番号			橋梁番号			点検年月			今回			前回		
橋梁名			路線			道路種別			路線指定								
所在地						路線名			点検実施者								

上部工形式			下部工形式			基礎形式											
-------	--	--	-------	--	--	------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

変状の種類	鋼部材の変状					コンクリートの変状					その他					共通					対策区分の判定	損傷パターン分類	健全度の判定	備考					
	腐食	亀裂	ゆるみ・脱落	破断	防食機能の劣化	ひびわれ	剥離・鉄筋露出	漏水・遊離石灰	抜け落ち	床版ひびわれ	うき	遊間の異常	路面の凹凸	舗装の異常	支承の機能障害	その他	補修・補強材の損傷	定着部の異常	変色・劣化	漏水・滞水					② 異常な音・振動	② 異常たわみ	② 変形・欠損	② 土砂詰り	⑤ 沈下・移動・傾斜
上部工	主桁	*						-	-			-	-	-				-					-	-	-				
	横桁・縦桁	*						-	-			-	-	-				-					-	-	-				
	対傾構・横構					-	-	-	-	-	-	-	-	-				-					-	-	-				
	床版	*										-	-	-				-					-	-	-				
下部工	橋脚	*						-	-			-	-	-				-				-	-	-					
	橋台	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-				-	-	-					
	基礎	*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-				-	-	-					
支承部	支承					-	-	-	-	-	-	-	-				-					-	-	-					
	落橋防止システム										-	-	-				-					-	-	-					
路上	高欄・防護柵										-	-	-				-					-	-	-					
	地覆			-	-	-					-	-	-				-					-	-	-					
	伸縮装置			-							-	-	-				-					-	-	-					
	舗装		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-					-	-	-					
	排水施設					-	-	-	-	-	-	-	-				-					-	-	-					
その他	添架物										-	-	-				-					-	-	-					
	袖擁壁		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				-					-	-	-					
	その他																												

備考																											
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

対象部材や対象損傷が無い場合は「-」を入力。  
 入力を行う場合、損傷程度の判定は半角英字「a~e」、対策区分は半角英字「A・B・C1・C2・E1・E2・S1・S2・M」のいずれかを入力。  
 損傷パターン分類は、対策区分E1、E2の部材に対しE - ~、対策区分C1・C2の部材に対しC - ~10、C - その他のいずれかを入力(対策区分S1については可能なもののみ入力)  
 健全度の判定は「 . . . . . 」のいずれかを入力。

点検調書(その5) 損傷図		径間番号			緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号		橋梁番号		点検年月	今回	前回	
橋梁名	路線	道路種別	路線指定					
所在地		路線名	点検実施者					
損 傷 図								

点検調書(その6) 損傷写真			径間番号					緯度				経度			
ふりがな			ブロック番号		橋梁番号			点検年月		今回		前回			
橋梁名			路線		道路種別			路線指定							
所在地					路線名			点検実施者							
損 傷 写 真	写真番号		径間番号		メモ			写真番号		径間番号		メモ			
	部材名							部材名							
	損傷の種類		損傷程度					損傷の種類		損傷程度					
	写真番号		径間番号		メモ			写真番号		径間番号		メモ			
	部材名							部材名							
	損傷の種類		損傷程度					損傷の種類		損傷程度					

点検調書(その7) 部材番号図					緯度		経度	
ふりがな	ブロック番号		橋梁番号		点検年月		今回	前回
橋梁名	路線	道路種別	路線指定					
所在地		路線名	点検実施者					
部 材 番 号 図								